

事業シート(令和3年度決算)

事業名	41510 アスベスト対策事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	4	衛生費		まちづくり戦略	(3)	地域特性の保全、活用、創出	
			項	1	保健衛生費		根拠計画		過疎地域持続的発展計画	
			目	5	生活環境費					
担当課	都市政策部 建築住宅課	内線	2318							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	・アスベストの飛散による市民の健康被害を予防し、生活環境の保全を図る。	概要	・アスベスト含有調査費に対する助成 ・アスベスト除去工事費に対する助成 ・調査、除却に向けた啓発活動
----	-------------------------------------	----	--

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R2		R3			(千円)
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		3,000	2,385	2,500	2,500	2,000	△ 385
特定財源	国費 (アスベスト対策事業費 1/3、10/10)	2,000	1,200	1,500	1,500	1,000	△ 200
	県費						
	その他						
一般財源		1,000	1,185	1,000	1,000	1,000	△ 185
個票枝番	主な事業内容						
	アスベスト含有調査事業補助金	1,000	385	500	500		△ 385
	アスベスト除去等事業補助金	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額		3,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
4,500	4,500	4,500	2,000	
2,500	2,500	2,500	1,000	
2,000	2,000	2,000	1,000	
査定額	説明			
500				
4,000				

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	・助成件数 アスベスト含有調査事業補助金 3件 アスベスト除去等事業補助金 1件 ・制度周知 広報たかやまへ助成制度を掲載
評価等	・市民の健康被害の予防、生活環境の保全が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	・制度周知のため、引き続き、広報たかやまへの掲載や関係団体への説明等積極的なPRを行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	・助成件数 アスベスト含有調査事業補助金 0件 アスベスト除去等事業補助金 1件 ・制度周知 広報たかやまへ助成制度を掲載
評価等	・市民の健康被害の予防、生活環境の保全が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	・制度周知のため、引き続き、広報たかやまへの掲載や関係団体への説明等積極的なPRを行う。 <input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	・アスベストの飛散による市民の健康被害を防止するために必要な経費を計上
---------------------	-------------------------------------

財務部 査定の 考え方	・要求どおり
市長査定 の考え方	・財務部査定のとおりに

事業シート(令和3年度決算)

事業名	74105 建築政策推進事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約
			款	7	土木費		まちづくり戦略	(3)	地域特性の保全、活用、創出	
			項	4	都市計画費		根拠計画			
			目	1	都市計画総務費					
担当課	都市政策部 建築住宅課	内線	2318							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 安全・快適な市有建築物を整備する。 秩序ある土地利用の推進により、都市の健全な発展を図る。 建築基準法、建設リサイクル法、省エネ法等の適正な運用により良好な居住環境を整備する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 公共建築工事に係る設計及び監理を実施する。 一定規模以上の公共建築物の定期調査を実施する。 都市計画制度の活用等により土地利用の規制、誘導を図るとともに、まちづくりに関する計画及び指針に適合するよう、必要な指導や助言を行う。 建築確認及び各届出による審査を実施する。 地域の住宅建築等の需要を喚起し、建築産業を支援する。
----	--	----	--

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R2		R3			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
	25,134	18,920	26,439	26,439	17,446	△ 1,474
特定財源						
国費 (景観改善推進事業費 1/3)		650				△ 650
県費 (県移譲事務交付金、土地利用規制対策交付金)	33	432	158	158	634	202
その他(確認申請、開発許可手数料、飛騨高山ふるさと基金繰入金 等)	2,000	1,431	1,000	1,000	276	△ 1,155
一般財源	23,101	16,407	25,281	25,281	16,536	129
個票枝番	主な事業内容					
	392	82	342	342	146	64
美しい景観と潤いのあるまちづくり審議会						
市有建築物の改築・改修に係る設計	9,000	6,496	6,000	6,000	2,569	△ 3,927
伝統的木工技術継承に対する助成	9,545	9,545	10,000	10,000	9,982	437
特殊建築物定期調査報告	5,000	1,980	9,000	9,000	3,993	2,013

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額	11,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
21,930	18,439	18,439	△ 8,000
31	34	34	△ 124
652	1,000	1,000	
21,247	17,405	17,405	△ 7,876
査定額	説明		
342			
7,000			
10,000	伝統的木工技術継承事業補助金		

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 市有建築物の改修に係る設計監理業務等の委託17件 建築確認申請8件、完了検査申請5件、位置指定道路7件、都市計画法53条許可申請4件 美しい景観と潤いのあるまちづくり条例 大規模開発届出11件、中規模開発届出84件、小規模開発届出83件、景観重点区域内行為届82件 伝統的木工技術継承事業補助金22件(新型コロナウイルス感染症に関する経済対策として、R2.9月からR4.3月まで補助率及び上限額を拡充)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 各種基準の市民への周知や建築関係事業者等に対する指導、助言により、良好な居住環境の整備、歴史的な建造物や町並みの保存が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 市民に対する各種基準の周知に加えて、建築関係事業者や宅建協会、行政書士会等に対する景観基準や開発基準、手続き方法等の理解をより深めるための研修会等の開催により、基準の順守や手続きの円滑化を促進する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 市有建築物の改修に係る設計監理業務等の委託11件 建築確認申請2件、完了検査申請4件、位置指定道路6件、都市計画法53条許可申請5件 美しい景観と潤いのあるまちづくり条例 大規模開発届出11件、中規模開発届出93件、小規模開発届出59件、景観重点区域内行為届91件 伝統的木工技術継承事業補助金23件(新型コロナウイルス感染症に関する経済対策として、R2.9月からR4.3月まで補助率及び上限額を拡充)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 各種基準の市民への周知や建築関係事業者等に対する指導、助言により、良好な居住環境の整備、歴史的な建造物や町並みの保存が図られた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 市民に対する各種基準の周知に加えて、建築関係事業者や宅建協会、行政書士会等に対する景観基準や開発基準、手続き方法等の理解をより深めるための研修会等の開催により、基準の順守や手続きの円滑化を促進する。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 景観行政、開発許可等に係る事務に必要な経費を計上 伝統的な木工技術等の継承(活用促進)に必要な経費を計上
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査
-------------------	---

市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 財務部査定のとおりに
--------------	--

事業シート(令和3年度決算)

34_建築住宅課_3

事業名	74120 建築物耐震対策事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	市内の業界・企業の皆さんと協力して、地震や災害に強い住宅やインフラストラクチャー(道路・上下水道・情報などを始めとした都市の基盤となる施設)、各種公共施設の整備を進めます。
			款	7	土木費		まちづくり戦略	(4)	安全への備えと災害時の対応強化		
			項	4	都市計画費		根拠計画		耐震改修促進計画、過疎地域持続的発展計画		
			目	1	都市計画総務費						
担当課	都市政策部 建築住宅課	内線	2318								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<p>・住宅や一定用途、規模以上の建築物に関して、耐震診断及び耐震改修工事に対する助成を実施し、地震に強い安全・安心なまちづくりを進める。</p>	概要	<p>・耐震診断に関する助成事業 木造住宅耐震診断委託、伝統構法木造建築物耐震診断に対する助成、建築物耐震診断(木造住宅以外)に対する助成 ・耐震改修工事に関する助成事業 木造住宅耐震改修工事に対する助成、伝統構法木造建築物耐震改修工事に対する助成、特定建築物の耐震改修に関する助成 ・耐震啓発に関する活動 市職員による相談会等の耐震啓発</p>
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標
住宅耐震化率	-	-	95%

2.事業の実施結果等(Do)

歳出事業費 (職員人件費を除く)		R2		R3			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
		91,069	71,061	229,110	229,110	220,592	149,531
特定財源	国費(建築物耐震改修等事業費 11.5/100、2/9、1/2 等)	19,280	15,471	103,600	103,600	103,970	88,499
	県費(建築物耐震化補強助成事業費 1/4、1/9 等)	24,900	21,750	52,800	52,800	52,441	30,691
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)	200	200				△ 200
一般財源		46,689	33,640	72,710	72,710	64,181	30,541
個票枝番	主な事業内容						
	木造住宅の耐震診断	2,400	520	1,200	1,200	1,041	521
	建築物の耐震診断・耐震改修工事等に対する助成	21,755	12,000	19,400	19,400	12,116	116
	ブロック塀の撤去等に対する助成	11,624	3,252	7,500	7,500	6,805	3,553
	耐震診断義務化建築物耐震化改修に対する助成	55,280	55,280	201,000	201,000	200,621	145,341

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額		31,200
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
39,310	18,610	18,610	△ 210,500	
13,091	2,700	2,700	△ 100,900	
7,724	2,550	2,550	△ 50,250	
18,495	13,360	13,360	△ 59,350	
査定額	説明			
1,000				
17,600				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<p>・助成等件数 木造住宅耐震診断事業委託 11件 建築物耐震診断事業補助金 一般建築物 0件 " " 伝統構法木造建築物 2件 建築物耐震改修工事補助金 木造建築物 4件 " " 伝統構法木造建築物 2件 " " 診断義務付け建築物 1件 ブロック塀等対策事業補助金 19件(新型コロナウイルス感染症に関する経済対策として、R2.9月からR4.3月まで補助率及び上限額を拡充) ・広報たかやまへ助成制度の掲載やホームページ、SNSを活用した情報発信</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定
評価等	<p>・各種助成制度等により、建築物の耐震化を促進することができた。 ・耐震診断義務化建築物の安全対策への支援を行った。</p>	
次年度以降の考え方(担当課)	<p>・耐震強度が不足すると考えられる昭和56年5月31日以前建築の建築物を主として、建築物の耐震化を促進するため、啓発活動を継続的に実施していく。 ・耐震診断実施が耐震改修工事につながるよう、啓発活動を行う。 ・診断義務化建築物の安全対策への支援を行う。</p>	

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<p>・助成等件数 木造住宅耐震診断事業委託 22件 建築物耐震診断事業補助金 一般建築物 1件 " " 伝統構法木造建築物 1件 建築物耐震改修工事補助金 木造建築物 5件 " " 伝統構法木造建築物 1件 " " 診断義務付け建築物 1件 ブロック塀等対策事業補助金 34件(新型コロナウイルス感染症に関する経済対策として、R2.9月からR4.3月まで補助率及び上限額を拡充) ・広報たかやまへ助成制度の掲載やホームページ、SNSを活用した情報発信</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定
評価等	<p>・各種助成制度等により、建築物の耐震化を促進することができた。 ・耐震診断義務化建築物の安全対策への支援を行った。</p>	
次年度以降の考え方(担当課)	<p>・耐震強度が不足すると考えられる昭和56年5月31日以前建築の建築物を主として、建築物の耐震化を促進するため、啓発活動を継続的に実施していく。 ・耐震診断実施が耐震改修工事につながるよう、啓発活動を行う。 ・ブロック塀等対策事業補助金は、当初計画どおり制度終了。</p>	

担当課 予算要求 ポイント	<p>・建築物の耐震診断、計画策定、改修工事に対する支援に必要な経費を計上</p>
---------------------	---

財務部 査定の 考え方	<p>・精算内容を精査 ・建築物の耐震診断・耐震改修工事等に対する助成について、要望の取下があったことにより金額を精査</p>
-------------------	--

市長査定 の考え方	<p>・財務部査定のとおりに</p>
--------------	--------------------

事業シート(令和3年度決算)

事業名	74125 空家等対策事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	3	人と人がつながり、安全で美しさと便利さが共存する持続可能なまちをつくる	市長公約	
			款	7	土木費		まちづくり戦略	(3)	地域特性の保全、活用、創出		
			項	4	都市計画費		根拠計画				空家等対策計画、過疎地域持続的発展計画
			目	1	都市計画総務費						
担当課	都市政策部 建築住宅課	内線	2337								

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 空家等の状況を把握し、適切に管理されていない空家等に対して、適切な管理を促すことで、地域住民の安全な生活環境を保全するとともに、空家等の活用を促進することで、住みやすいまちづくりを推進する。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 高山市空家等対策協議会、高山市特定空家等審査会の運営 空家等の実態、所有者調査の実施 特定空家等の認定、指導、勧告、命令等の実施 空家に関する相談 老朽空家等の除却に対する支援 空家の活用方法の提案や流通促進を図る仕組みの構築
----	---	----	--

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

		R2		R3			
		最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)
歳出事業費 (職員人件費を除く)		6,868	6,129	6,160	6,160	3,664	△ 2,465
特定財源	国費 (空家等対策事業費 1/2)		1,500	1,500	1,500	1,500	
	県費 (空家等対策事業費 1/3)	1,000	756				△ 756
	その他(飛騨高山ふるさと基金繰入金)	100	100				△ 100
一般財源		5,768	3,773	4,660	4,660	2,164	△ 1,609
個票枝番	主な事業内容						
	特定空家等審査会	292	36	110	110		△ 36
	空家等相談会の開催	100	62	100	100	46	△ 16
	老朽空家等の活用・除却に対する支援	5,376	5,376	5,000	5,000	3,211	△ 2,165
	空家活用コンテストの開催	1,050	547	900	900	362	△ 185

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

R4予算		実施計画額		3,200
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)	
3,303	3,310	3,310	△ 2,850	
1,500	1,500	1,500		
1,803	1,810	1,810	△ 2,850	
査定額	説明			
110				
100				
3,000				

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績・評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 特定空家等審査会の実施(1回、空家4件を審査) 空家等相談会の開催(4回、11名) 空家活用コンテストの開催(応募21件) 老朽空家等の除却に対する助成(7件)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 空家等相談会の開催により、空家に係る個別問題の解決に向けた対応が促進された。 老朽空家等の所有者への指導や助成制度周知により、老朽空家等が除却され、安全な生活環境の保全が図られた。 空家活用コンテストにおける空家の利活用方法の提案など、空家問題への関心を高めることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 空家等対策計画に基づき、空家化の予防、適切な管理の促進及び管理不全の是正を図る。 老朽空家等の除却及び空家等の利活用を推進する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R2完了 <input type="checkbox"/> R3完了予定

5.令和3年度事業実績・評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 空家等相談会の開催(3回、9名) 空家活用コンテストの開催(応募5件) 老朽空家等の除却に対する助成(4件)
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 空家等相談会の開催により、空家に係る個別問題の解決に向けた対応が促進された。 老朽空家等の所有者への指導や助成制度周知により、老朽空家等が除却され、安全な生活環境の保全が図られた。 空家活用コンテストにおける空家の利活用方法の提案など、空家問題への関心を高めることができた。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 空家等対策計画に基づき、空家化の予防、適切な管理の促進及び管理不全の是正を図る。 老朽空家等の除却及び空家等の利活用を推進する。 空家活用補助金の活用実績がないため廃止。 空家活用コンテストは一定の役割を果たしたため廃止
	<input type="checkbox"/> 維持・改善 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> R3完了 <input type="checkbox"/> R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	空家等対策の推進に必要な経費を計上
---------------------	-------------------

財務部 査定の 考え方	積算内容を精査
-------------------	---------

市長査定 の考え方	財務部査定のとおり
--------------	-----------

事業シート(令和3年度決算)

事業名	75100 市営住宅管理事業費	予算	会計	1	一般会計	総合計画	まちづくりの方向性	2	心身の健康と文化、教育で心豊かな暮らしを実現する	市長公約
			款	7	土木費		まちづくり戦略	(1)	心身が健康で安心して暮らし続けられる社会の実現	
			項	5	住宅費		市営住宅管理計画、過疎地域持続的発展計画			
			目	1	住宅管理費		根拠計画			
担当課	都市政策部 建築住宅課	内線	2337							

1.事業の目的・概要(Plan)

目的	<ul style="list-style-type: none"> 住宅に困窮する市民に対して、低廉な家賃で住宅を供給し、生活の安定を図る。 市営住宅の整備・改修を進め、居住者の生活環境の保全を図る。 	概要	<ul style="list-style-type: none"> 入居者や入居希望者からの相談等への対応 指定管理者と連携した市営住宅の維持管理 計画的な整備工事の実施
----	---	----	---

総合計画等 主な指標	R2実績	R3実績	R6目標

2.事業の実施結果等(Do)

(千円)

歳出事業費 (職員人件費を除く)	R2			R3			
	最終予算	決算(a)	当初予算(c)	最終予算	決算(b)	増減(b)-(a)	
	127,606	127,451	123,723	123,723	123,417	△ 4,034	
特定財源							
国費()							
県費()							
その他(公営住宅使用料、敷地占用料、督促手数料 等)	127,601	127,451	123,716	123,716	123,417	△ 4,034	
一般財源	5		7	7			
個票枝番	主な事業内容						
	市営住宅の管理	28,800	28,800	23,800	29,700	29,700	900
	三福寺団地借上料(債務負担)	53,973	53,973	53,973	53,973	53,973	
	施設整備	38,147	38,133	40,000	34,105	34,057	△ 4,076

※下段は主な事業内容を抜き出したものであり、計が歳出事業費に一致しない場合があります。

4.令和4年度予算編成(Action)

(千円)

R4予算		実施計画額	120,000
要求額	財務部査定額	市長査定額(d)	増減(d)-(c)
127,563	126,668	126,668	2,945
127,563	126,011	126,011	2,295
	657	657	650
査定額	説明		
26,800			
53,973			
40,000			

※入札に影響するため公開に適さないなど、記載省略(※)する場合があります。

3.令和2年度事業実績、評価等(Check) R3.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者との連携を密にした維持管理 夕陽ヶ丘団地屋根改修ほか整備工事の実施 新型コロナウイルス感染症の影響による離職や収入減に対応するための特別措置や入居要件の緩和を実施
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者との役割分担のもと、適正な維持管理を行うことができた。 滞納整理の強化(電話による督促、支所との連携)により、徴収目標を達成することができた。 地域の実情と需給バランスを考慮した住宅の適正配置が必要である。 滞納傾向にある居住者への早期指導や連帯保証人への連絡による納付依頼の実施等、滞納整理の強化が必要である。 高額滞納者に対しては法的措置も含めた厳正な対応が必要である。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者と連絡を密にした維持管理を実施する。 地域の実情に合わせた配置の適正化を検討する。 滞納整理の強化を図る。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R2完了
- R3完了予定

5.令和3年度事業実績、評価等(Check) R4.8実施

事業実績	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者との連携を密にした市営住宅の維持管理 赤保木団地外壁改修ほか整備工事の実施 新型コロナウイルス感染症の影響による離職や収入減に対応するための特別措置や入居要件の緩和を継続して実施 退去した滞納者の連帯保証人に対する未納額の納付を促す文書の送付など、収納率の向上に向けた取り組み
評価等	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者との役割分担のもと、適正な維持管理を行うことができた。 滞納整理の強化(電話による督促、支所との連携)により、徴収目標を達成することができた。 地域の実情と需給バランスを考慮した住宅の適正配置が必要である。 滞納傾向にある居住者への早期指導や、連帯保証人への連絡による納付依頼の実施等、滞納整理の強化が必要である。 高額滞納者に対しては法的措置も含めた厳正な対応が必要である。
次年度以降の考え方(担当課)	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者と連絡を密にした維持管理を実施する。 地域の実情に合わせた配置の適正化を検討する。 債権管理条例及び同規則を基に台帳を整備し、滞納整理の強化を図る。

- 維持・改善
- 拡大
- 縮小
- 廃止検討
- R3完了
- R4完了予定

担当課 予算要求 ポイント	<ul style="list-style-type: none"> 市営住宅の適正管理に必要な経費を計上
---------------------	--

財務部 査定の 考え方	<ul style="list-style-type: none"> 積算内容を精査 指定管理料について、事業課とのヒアリングに基づき必要な金額を追加
市長査定 の考え方	<ul style="list-style-type: none"> 財務部査定のとおり